

お知らせ

道央自動車道 砂川SAスマートインターチェンジ
開通後3年間の利用状況について

【お知らせ内容】

平成27年8月8日に開通した「砂川SAスマートインターチェンジ（以下、砂川SAスマートIC）」の開通後3年間の利用状況等についてお知らせします。

■砂川SAスマートICの利用状況

- *開通後3年間（平成27年8月8日～平成30年7月31日）の日平均出入交通量は約430台。累計では、約47万台のご利用をいただいております。
- *開通後3年目の1年間（平成29年8月1日～平成30年7月31日）の日平均出入交通量は467台。平日は日平均459台、休日は日平均485台で、特に大型連休（GW・お盆・シルバーウィーク）では平日と比較して約1.4～2.0倍のご利用がありました。

■砂川SAスマートIC開通による効果 ※詳細は別添資料をご覧ください。

- *増加傾向にある砂川市立病院への救急搬送の状況からも、迅速で安定した救急活動を支援し、広域的な医療活動に貢献しています。
- *観光期やイベント開催時の交通量の増加からも、アクセス性の向上による誘客効果が生まれ、観光の活性化に寄与しています。
- *周辺地域（道央砂川工業団地含む）に事業所進出など動きがあることから、この地域のアクセス性の向上などへの期待の大きさが伺われ、道央砂川工業団地への企業誘致が期待されています。

■開通後の認知拡大・利用促進に向けた取組

- *道内SA・PA・道の駅、新千歳空港、市内外観光イベントなどで、PRポスター・チラシの配置やノベルティを配布しました。
- *開通を期に、砂川ハイウェイオアシスで「なかそらち大収穫祭」が毎年開催されています。
- *観光雑誌「北海道じゃらん」、「るるぶFREEドライブ北海道」に、砂川SAスマートIC利用と砂川をPRする特集記事を掲載しました。
- *「空知スタンプラリー2018」の実施に併せ、スタンプポイントを砂川ハイウェイオアシス館に設置、スタンプ帳には砂川SAスマートICを起点とするドライブコースを記したチラシを折込みました。
- *市独自にETC車載器搭載促進補助金を平成27年1月から平成29年3月まで交付しました。
(ETC車載器の搭載に要する費用の3分の1以内の額(上限額5,000円))
・平成26年度…57件 ・平成27年度…129件 ・平成28年度…127件

■道央砂川工業団地の分譲における補助制度

砂川市では、道央砂川工業団地に新設・増設・移設する企業に対して補助を実施しています。

<http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/sangyou/shoukou/kogyodanti.html>

■お問い合わせ先 <平日：8時30分～17時15分>

砂川市 総務部 政策調整課 0125-54-2121（内線377）

本資料については、北海道新聞社滝川支局、朝日新聞北海道報道センター、読売新聞社岩見沢支局、毎日新聞社滝川通信部、空知新聞社砂川支局、NHK札幌放送局岩見沢支局、北海道建設新聞社空知支社、北海道通信社岩見沢支社にお配りしています。

砂川SAスマートインターチェンジ開通

3年後

砂川SAスマートインターチェンジが
開通(平成27年8月8日)してから、3年が経過しました。

現在の利用状況について取りまとめましたのでお知らせします。

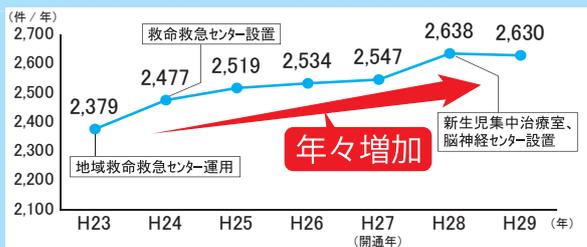
砂川SAスマートIC開通による効果

医療

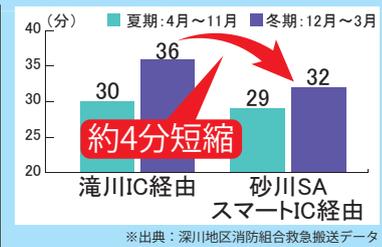
- 砂川市立病院への救急搬送件数が年々増加するなか、平成28年には新生児集中治療室等が設置されるなど重要性が高まっています。
- 砂川SAスマートICの開通により、旭川方面から砂川市立病院への救急搬送時間は、夏期は約1分、冬期には約4分短縮され、迅速な救急活動を支援しています。
- 砂川SAスマートICの開通後、深川市立病院から砂川市立病院への救急搬送件数は増加傾向にあり、特に冬期は開通前1.8件/月に対して開通3年目には3.5件/月に増加するなど、広域的な医療活動に貢献し、安全で安心な地域生活を支えています。



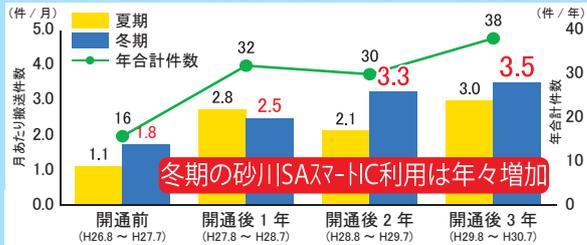
▼砂川市立病院への救急搬送件数



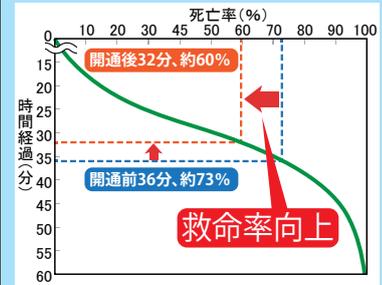
▼砂川市立病院への救急搬送平均時間の短縮



▼砂川SAスマートICを利用した深川市立病院から砂川市立病院への月あたり救急搬送件数



▼時間短縮と救命率(カーラー曲線)



【深川消防組合職員】

砂川SAスマートICの利用により、砂川市立病院への搬送時間が約4分短縮され、また、安全性の高い路面状況での搬送が確保されました。搬送時間の短縮と安全な走行は、迅速な救命活動につながり、重傷患者の負担軽減に大きな効果が上がっていると実感しています。

砂川ISAスマートインターチェンジ開通

3年後

砂川ISAスマートインターチェンジが
開通(平成27年8月8日)してから、3年が経過しました。

現在の利用状況について取りまとめましたのでお知らせします。

砂川ISAスマートIC開通による効果

観光

- 平成29年度の砂川市の観光入込客数は、空知の産直そらいちマーケットなど新たな集客施設の立地もあり、過去5年間で最多となる141.3万人を記録しました。
- 観光期やイベント開催時における砂川ISAスマートICの交通量は、年間平均を上回る利用があり、観光の活性化に寄与しています。
- 観光客アンケートからも約4割の方が来訪回数の増加になったという意見があり、アクセス性の向上が図られ、誘客効果がでています。



▼砂川ISAスマートIC周辺観光マップ



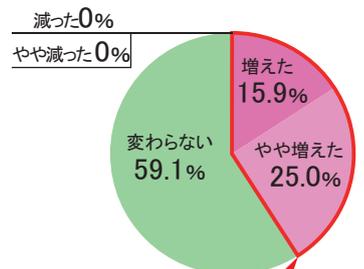
▼砂川市における観光入込客数



※出典：北海道観光入込客数調査報告書

▼観光客アンケート

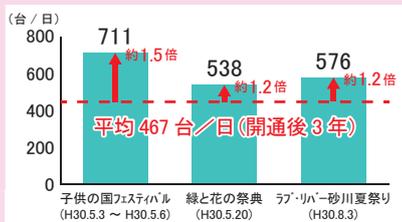
Q. 砂川ISAスマートIC開通によって、砂川市及び周辺の来訪回数が増えましたか？



約4割が『来訪回数が増えた』と回答

※出典：砂川市実施アンケート調査

▼各イベント時における砂川ISAスマートICの平均流出交通量



※出典：NEXCO 東日本提供資料

【すながわスイーツロード協議会加盟店】



砂川ISAスマートICの開通により、北海道子どもの国や周辺地域の商業施設との回遊が図られ消費活動に繋がっていると認識しています。また、営業活動においても砂川ISAスマートICを活用できるようになり利便性が向上しました。

砂川SAスマートインターチェンジ開通

3年後

砂川SAスマートインターチェンジが
開通(平成27年8月8日)してから、3年が経過しました。

現在の利用状況について取りまとめましたのでお知らせします。

砂川SAスマートIC開通による効果

産業

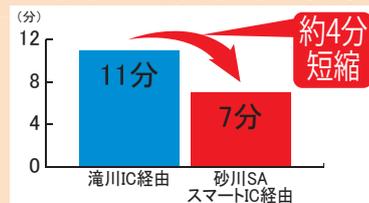
- 砂川SAスマートICを利用することにより、道央砂川工業団地から隣接IC(滝川IC、奈井江砂川IC)までの所要時間は約4分～6分短縮され、アクセス性が向上しています。
- 近年、減少傾向であった砂川市の製造品出荷額は、景気回復もあり平成28年度に275億円まで復調しました。
- 砂川SAスマートICを利用した生産性向上などを期待して、道央砂川工業団地の契約件数増加(新規立地企業1件)や近隣に店舗を新設、店舗拡張に着手するなど設備投資が進んでいます。



▼道央砂川工業団地へのアクセスと周辺企業における設備投資の活性化



▼滝川IC～道央砂川工業団地



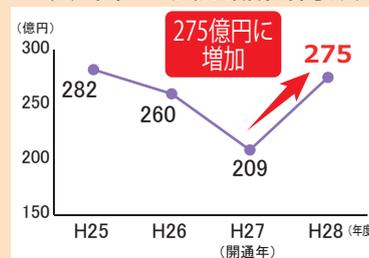
※出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

▼奈井江砂川IC～道央砂川工業団地



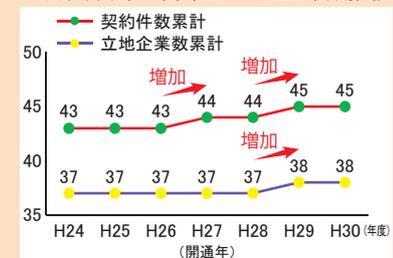
※出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

▼砂川市の製造品出荷額



※出典：工業統計

▼道央砂川工業団地の立地企業数推移



※出典：砂川市道央砂川工業団地データ



【道央砂川工業団地 立地事業者】

弊社社員は、札幌本社との行き来の際、積極的に砂川SAスマートICを利用しています。また、砂川SAスマートICが近いことから、ショールームの見学者の道案内が容易になり、見学者の方にもかなり利用して頂いています(昨年度は約90名来場)。